

## 巡回バス

# 4月から本格運行開始!

今年、3月31日に実証運行期間終了を迎えた神埼巡回バス。市では、昨年から一人暮らしの高齢者および高齢者のみ世帯を対象に公共交通に関するアンケートを実施しました。

その結果および、これまでの利用状況をもちに、神埼市地域公共交通活性化協議会で協議を重ね、本格運行が承認。これを受け、先の3月議会で正式に決定しました。

これまでの利用状況とアンケート結果を紹介します。

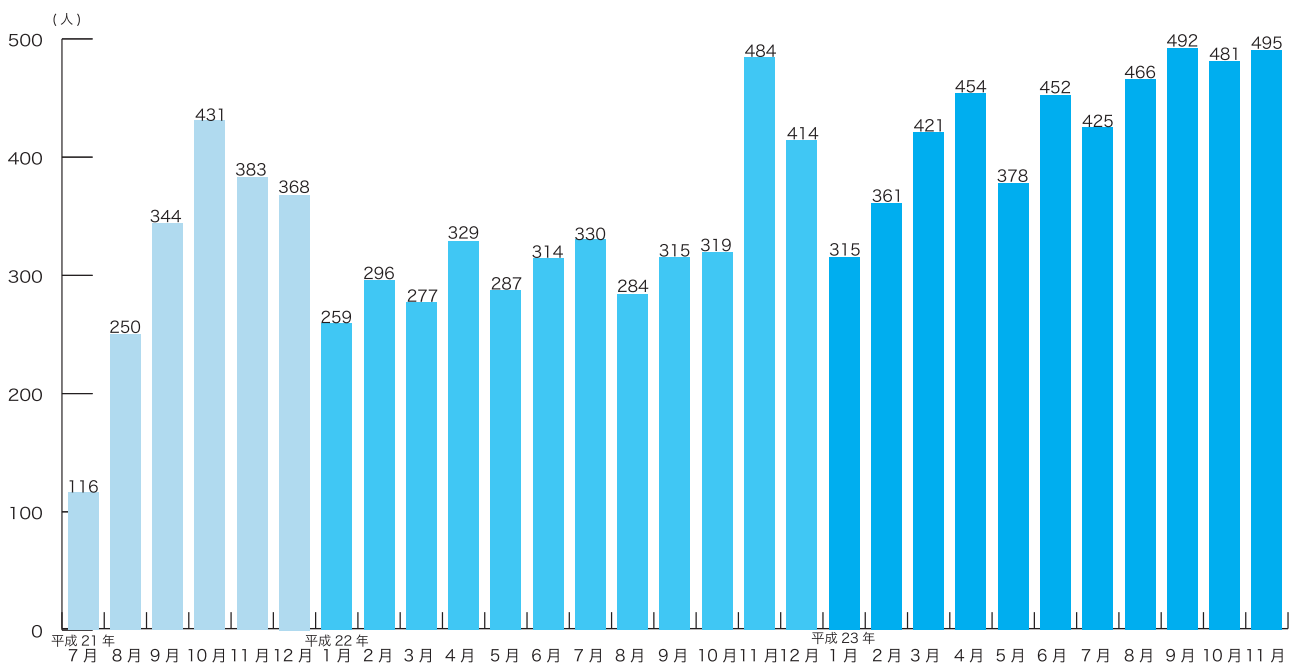


巡回バス実証運行は、平成21年7月17日から高齢化する住民の移動手段確保、市内公共交通利便性の格差是正などを目的に、3年間の期限付きで行ってきました。その間、コースとバス停の見直しや、フリー乗降区間を設置することで、利用者の利便性向上に努めてきました。市では、実態を把握するため、市内の一人暮らしの高齢者ならびに高齢者のみの世帯約2500人を対象として神埼市民生児童委員協議会と西九州大学の協力でアンケートを実施しました。

アンケート調査では、巡回バス利用者の満足度は約72%と高く、「今後も必要か」との問いに、約半数の方が必要との回答をいただきました。

また、巡回バス運行開始からこれまで利用者が増加傾向（月間利用状況参照）にあり、アンケートの結果や市民の皆さまのご意見を参考に、これからも地域住民が安心して利用できる持続可能な公共交通の整備を図っていきます。

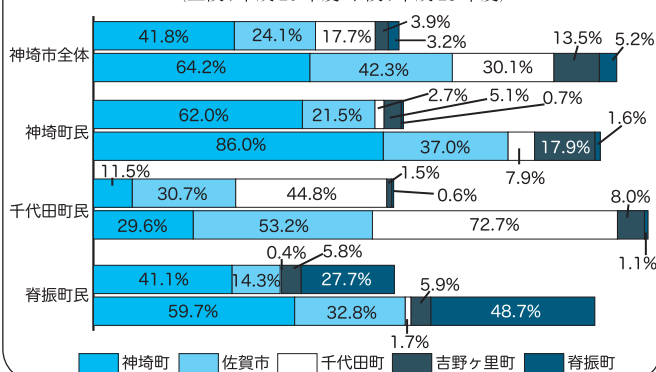
巡回バス月間利用状況（平成21年7月～平成23年11月まで）



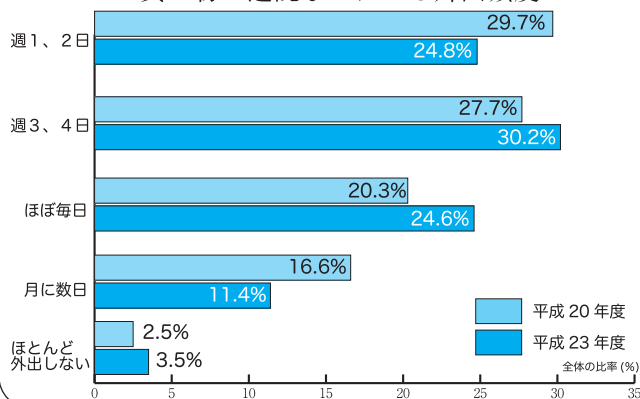
# アンケート結果から

外出先の主な目的地の割合比較

(上段:平成20年度 下段:平成23年度)



買い物・通院などによる外出頻度



## 外出頻度が増加

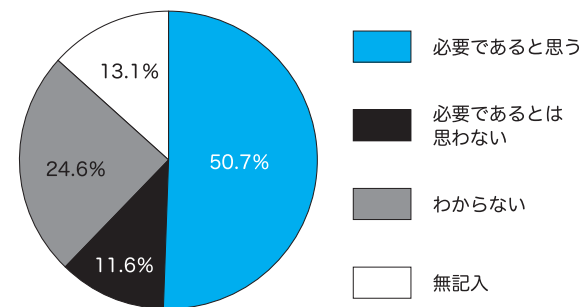
巡回バス利用者の多くは、高齢者であり、移動手段を持たない方がほとんどです。バス停別の利用状況を確認すると病院、スーパー、金融機関の最寄りのバス停が多く、日常生活に必要な不可欠な交通として機能しています。また、市内における公共交通機関（ＪＲ・路線バス）との接続により、市外へ移動される方も多く見受けられます。

巡回バス実証運行実施前の平成20年に行ったアンケートと比較すると、巡回バスの運行する日数と同じ「週3、4日」と「ほぼ毎日の人数」が増加していることから、日常生活における外出頻度が増え、利用者の増加に繋がっていると推測できます。

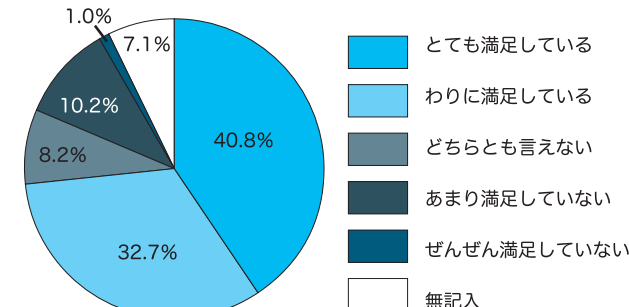
さらに合併後の縦軸の交通網の構築、地域間交流の促進も考慮しながら実証運行を行っています。調査と比較すると神崎町民の方が千代田へ、千代田町民の方が神崎へ、相互に増加しており、地域間交流に寄与していると思われれます。

利用満足度では、満足している方が72人で73%を占めており、満足度は比較的高いと言えます。

巡回バスの必要性について



利用満足度について



## 今後も必要半数超す

「巡回バスは今後も必要であるか」という質問には、757人（回答者中50・7%）の方が必要であると回答されました。この数字は前回調査時の45・8%の数値を5ポイントほど上回るものであり、巡回バスが徐々に必要であるという市民に浸透してきた証であるといえます。「必要だ」と回答した方の理由についてみると、「利用者」、「高齢者」、「運転できない方」、「今後の利用者」、「運転できない方」、「交通手段のない方」といった他者の生活利便性に配慮したものが大半を占めるという結果が生まれました。

一方、必要であると思わないと回答した方は173件（11・6%）で、前回調査時の37・2%を大きく下回っています。この質問項目に関しては、回答数が前回の1・5倍ほどに増えており、単純な比較はできませんが、巡回バスに対する理解が増した結果であると推察されます。

◎問い合わせ先

神崎市役所 市長公室

37-0102